

2013年6月
住友商事九州株式会社

北九州市における太陽光発電事業の実施について

住友商事九州株式会社（本社：福岡市博多区、取締役社長：溝渕 寛明、以下「住友商事九州」）は、住友商事株式会社と共同で、福岡県北九州市若松区にて、プロジェクト総額約47億円、設備容量13MWの太陽光発電事業（以下「本事業」）を実施します。

住友商事では、これまでに2008年のスペイン13MWをはじめ、フランス30MW、アメリカ550MWなど世界各地で大規模太陽光発電事業の主体的な開発・運営を行ってきています。こうした事業経験を活かして日本国内でも大規模な太陽光発電事業の取り組みを行ってきています。

本事業は、北九州市若松区の工業団地内の敷地面積約24万平米の事業用地に太陽光パネル約6万枚を敷設、一般家庭4,600世帯分の年間消費量に相当する17,000MWhの電気を20年間にわたって発電、供給するものです。

住友商事九州は住友商事株式会社とともに本事業の設備を設置し、運営を行うソーラーパワー北九州株式会社に出資をし、事業の運営に積極的に協力していきます。

また、三井住友銀行を主幹事行として、福岡銀行、肥後銀行、佐賀銀行、山口銀行各行の協力により本事業へのプロジェクトファイナンスによる資金調達を行います。

住友商事は、大阪市夢洲（10MW、2013年10月 完工予定）に次ぐ国内第二弾の大規模太陽光発電プロジェクトとして本事業（13MW）とともに北海道苫小牧市（13MW）、愛媛県西条市（23MW）を実施することとしており、日本国内の太陽光発電事業の基盤が大幅に強化されることとなります。

住友商事九州は、住友商事グループがこれまで内外で蓄積した太陽光発電に関わる事業経営の知見、ノウハウを共有し、日射量が多く地勢面で有利な九州において、本件を皮切りとして、開発、投資、運営主体として太陽光発電事業の積極的な展開を加速していきたいと考えています。

【本事業概要】

福岡県北九州市若松区

事業会社名：ソーラーパワー北九州株式会社

資本金：9.5億円（予定）

主要出資者：住友商事九州株式会社
住友商事株式会社

敷地面積：24万平方メートル（福岡ヤフオク!ドーム 約3.5個分）

設備容量：13MW（太陽光パネル約6万枚を敷設）

想定発電量：年間 約17,000MWh

完工予定：2014年7月

【完成予想図】



【本件に関する問い合わせ先】

住友商事九州株式会社 機電・情報産業部 中野 TEL：092-441-4179